




別記様式(第8条関係)
(その1)

令和〇年〇月〇日

新城市議会議長
鈴木達雄 様

氏名 村田康助 

令和2年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和2年度政務活動費収支報告書

氏名 村田 康 助

(会派にあつては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費

150.000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	132,470	
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費	33,719	共同使用コピー機リース料コピー使用料 <u>33,719</u> 円
資 料 購 入 費		
合 計	166,189	

3 残 額

0 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

ご利用明細 三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

11/10
研修

年月日	取扱店番	お取引内容
021105		お振り込み
受付通番 銀行番号 支店番号 口座番号		
		お取引金額
*****		¥25,000*

お取扱い できない場合	残高	
		* * *
例) .20	税込手数料275*	おつり
お振込先・お受取人 ご依頼人		
カ) 子ホウキ カイソウゴ ウケンキ1ウシヨ様		
ムラタ コウスケ様		

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

議員定数・議員報酬の

決め方間違っていないませんか？

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

in
京都

11/10(火) 10:00~13:00 京都

適正な議員定数の決定手法を考える

【議員定数】

1. 議員定数削減は議会改革ではない
2. 類似団体の議会を参考として議員定数を決定することの無意味さ
3. 住民の議会に対する無関心と議員定数への理解の欠如
4. 議員定数の意義と地方自治法における規定の変遷
5. 議員定数にあたっての留意点
 - (1)人口比例方式が採用されてきた理由 (2)議員定数条例の提案権者
 - (3)各地方公共団体における議員定数をめぐる事例
 - (4)議員定数を考えるにあたっての要件 (5)議会事務局の補佐状況
6. 定数減少にかかる問題点と委員会審査
 - (1)議会費との関係 (2)監視機能への影響 (3)意見反映への影響
 - (4)所管委員会の判断
7. 議員定数算定方式
 - (1)6つの基準に基づく定数算定方式 (2)選挙区と1票の格差
8. 議員定数改正が与える影響を統計的に分析
 - (1)財政への影響 (2)政策立案への影響 (3)監視機能への影響

11/10(火) 14:00~17:00 京都

適正な議員報酬の決定手法を考える

【議員報酬】

1. 議員報酬削減も議会改革ではない
2. 類似団体の議会を参考として議員報酬を決定することの無意味さ
3. 住民の議会に対する無関心と議員報酬への理解の欠如
4. すぐできる議長報酬UP
5. 委員長・副委員長の役職加算は必須
6. 議員報酬の意義と法律の改正経緯
7. 議員報酬の現状
 - (1)議員報酬の現状 (2)議員の年齢構成・男女比率・競争率
 - (3)議員報酬に対するアンケート調査結果
8. 欠席・懲罰議員等に対する減額支給の是非
9. 議員報酬算定の7つの基準
10. 議員報酬改正が与える影響を統計的に分析
 - (1)財政への影響 (2)政策立案への影響 (3)監視機能への影響



講師 廣瀬和彦

【(株)地方議会総合研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事】

慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。明治大学政経学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。著書は、「Q & A 議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」(すべてぎょうせい)など多数。

研 修 費

11/16 研修

領収証

No.

2020 年 11 月 16 日

村田康助 様

金額

¥25,000

内
消費税等

現金

但 11月16日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研

議員の発言権を活用する

質問・不穏当発言を中心に in 京都

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

11/16(月) 10:00~13:00 京都

議員の発言権(基礎編)

1. 議員の発言権とは
(1)発言自由の原則 (2)発言に対する制限
(3)国会議員と地方議員の発言に対する保障の違い
2. 発言の種類
(1)質問(2)質疑 (3)討論 (4)議事進行発言 (5)一身上の弁明
(6)議員としての議長の発言
3. 発言の議事運営上の手続き
(1)通告書の提出 (2)通告の時期 (3)発言の順位
4. 発言の取消し・訂正
(1)議員の発言取消し・訂正 (2)執行機関の発言取消し・訂正
(3)会議録における取り扱い
5. 不穏当発言・不規則発言
(1)不穏当・不規則発言とは (2)不穏当発言の基準
(3)不穏当な言動に対する秩序罰
6. 議員の発言に対する法的責任

11/16(月) 14:00~17:00 京都

議員の発言権(活用編)~効果的な質問・質疑のチェックポイント~

1. 質問
(1)意義と種類 (2)機能 (3)通告と事前聞き取り
(4)答弁を求める者の解釈 (5)一問一答の活用手法
(6)質問の範囲(第三セクター・外交問題等) (7)議長等に対する質問
(8)質問時間(9)無通告による質問の取り扱い(10)重複質問
(11)質問における要望
(12)効果的な質問を行うにあたっての11個のチェックポイント
(13)より良い答弁を引き出すための5つの方策
(14)質問における情報源
2. 質疑
(1)意義と4つの注意事項 (2)質問と質疑の3つの違い
(3)委員会付託前の質疑と委員長報告後の質疑
(4)本会議と委員会質疑の違い
3. 質問・質疑(活用編)
(1)質問のテーマを考えるにあたっての3つのポイント
(2)執行機関への聞き取り (3)質問と公約
(4)政策提案と質問 (5)予算・決算における質疑改善点



講師 廣瀬和彦

【(株)地方議会総合研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事】
慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。明治大学政経学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。著書は、「Q&A議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」(すべてぎょうせい)など多数。

（注）領収書又はレシート等に記載を要しないよう貼付する

別記様式（第8条関係）

整理番号 98
領収書発行日 令和3年1月7日

領 収 書

村田 康助 様

¥6,200※

但し、研修負担金として。

研修科目 : 市町村議会議員特別セミナー
受講者氏名 : 村田 康助

入金日 : 令和2年12月16日
入金方法 : 銀行振込

研 修 費

千葉県美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修
分任出納役 酒井

令和2年度 第2回

「市町村議会議員特別セミナー」

～開催のご案内～

当研修所では、全国の市区町村議会の議員の皆様を対象に、自治体が直面している重要課題や時局の話題を取り上げる宿泊型特別セミナーを毎年度開催しております。

今回は、1月7日(木)～8日(金)の2日間、最新の情報をもとにそれぞれの分野でご活躍されている講師の皆様にご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

◆とき 令和3年1月7日(木) 13:00～1月8日(金) 12:20まで

◆ところ 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番

1月7日(木)

13:30～15:00 「ウィズコロナ時代の日本経済(仮)」
経済評論家、大阪経済大学客員教授 岡田 晃 氏

15:15～16:45 「豪雨災害とその備え(仮)」
東京大学大学院情報学環特任教授 片田 敏孝 氏

17:30～ 情報・意見交換会(夕食)

※新型コロナウイルス感染症に関する情勢によっては、情報・意見交換会を実施しない場合があります。

1月8日(金)

9:00～10:30 「地方議会の将来に向けて(仮)」
東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏

10:45～12:15 「地域コミュニティの現状と自治体の役割(仮)」
法政大学法学部教授 名和田 是彦 氏

※講演の内容等は、一部変更になる場合がございます。

申込期限：令和2年11月11日(水) (定員：120名)

申込方法：必ず議会事務局を通してお申し込みください。

①「特別課程受講申込書」をFAXでお送りいただくか、当研修所ホームページから電子申込みでお申し込みください。(FAX送信用の申込様式は、当研修所ホームページからダウンロードできます。電子申込みのID・パスワードは、令和2年度研修計画送付時、各市町村の職員研修担当課にお知らせしています。)

②多くの自治体からご参加いただくため、原則1団体9名以内でお願いいたします。

③申込みは先着順です。定員に達した場合は、申込期限前でも受付を締め切ります。

参加費：10,000円(宿泊費及び食費等を含む予定額となります。)

決定通知：申込受理後、決定通知に併せて必要な資料を送付いたします。

(申込期限前に締め切った場合でも、決定通知の書類送付は11月11日以降となります。)

担 当：細川、古山 〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番 市町村職員中央研修所
電 話：043-276-3126(研修部) 申込専用FAX：043-276-8484
U R L：https://www.jamp.gr.jp/

交通費 持ち
オンラインセミナー

領収証

No. _____

2021 年 1 月 26 日

村田康助 様

金額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 1月26日セミナー受講料として

上記正に領収いたしました

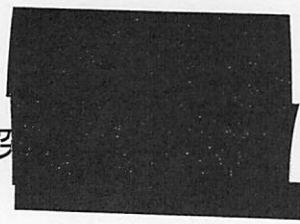
オンラインセミナー

〒112-0011

収入印紙

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研



(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

議員・職員のための
コロナに負けない！
議会力向上セミナー
1月26日(火) in 京都

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。



講師：江藤 俊昭【山梨学院大学教授】

昭和31年東京都生まれ。昭和61年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。政治学博士。専攻は地域政治論。三重県議会議会改革諮問会議会長、鳥取県智頭町行財政改革審議会会長、第29次・第30次地方制度調査会委員等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、議会サポーター・アドバイザー（栗山町、芽室町、滝沢市、山陽小野田市）、など。主な著書に、「自治体議会の政策サイクル」「Q&A 地方議会改革の最前線」、「自治体議会学」等多数。現在「議員NAVI」「ガバナンス」連載中。

1/26(火) 10:00~13:00

議会力をアップさせる
議員報酬・定数・政務活動

1. 議員報酬・定数・
政務活動費の基本原則
2. 議員報酬の考え方（過去・現在・未来）
：原価方式とは
3. 定数の考え方（過去・現在・未来）
：人口から討議の重視
4. 政務活動費の考え方
（過去・現在・未来）
：活動指標と成果指標
5. 議論し実現するプロセス
：住民を巻き込む議論を

1/26(火) 14:00~17:00

コロナ禍を踏まえた
地方議会のあり方

1. 二極化した議会
（質問・質疑・専決処分への対応）
2. 危機状況の議会運営
（議会BCP, 不要不急ではない活動）
3. 議会運営におけるし質疑・質問の位置
4. 議会改革の本史
5. 議会からの政策サイクルにおける
質疑・質問の位置
（質疑・質問を議会のものに）
6. よい質疑・質問をつくるために
（支援・ネットワーク）
7. 広報における質疑・質問

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加される方はチェックボックスに
 をお願いいたします。

フリガナ	ムラタ 康助
お名前	村田 康助
貴議会名	新城市議会
領収書 お宛名	村田 康助
ご住所	(〒441-1305) 愛知県新城市竹久408
TEL	(0536) 22-3455
FAX	
E-mail	

1月26日(火) 10:00 ~ 13:00 京都

議会力をアップさせる
議員報酬・定数・政務活動費

1月26日(火) 14:00 ~ 17:00 京都

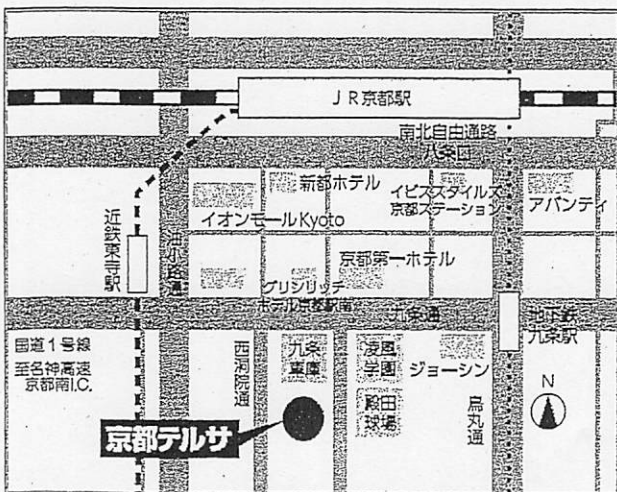
コロナ禍を踏まえた
地方議会のあり方

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスにをお願いいたします。

オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入下さい。

受講料は受講確認書到着後、事前にお振込をお願いいたします。★キャンセルは7日前までにメール又はFAXにてご連絡下さい。
お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。受講確認書をご覧いただき、
事前に口座にお振込をお願いいたします。※ホームページでのお申込の方がスムーズにご対応できます。



受講料

各講座 15,000円 (税込)

2講座受講 25,000円 (税込)

開催場所 京都テルサ 東館3階

地下鉄九条駅4番出口より西へ 徒歩約5分

近鉄東寺駅より東へ 徒歩約5分

JR京都駅(八条口西口)より南へ 徒歩約15分

会場——京都テルサ東館3階

D 会議室

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧下さい。

(株)地方議会総合研究所

〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6 TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

令和 3年 1月 12 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

村田 康助



研修について下記の通り報告します。

記

1 研修日 令和2年11月10日 午前10時より17時まで

2 研修先及び研修内容

京都市 京都テルサ 会議室

「適正な議員定数、並びに、適正な議員報酬の決定方法について」

3 講師 地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬和彦

4 研修内容等

議員定数にあたっての留意点。

議員報酬の現状について。

5 所 感

議員定数について。人口比例方式が採用されてきた理由。議員定数条例の提案権者。各地方公共団体における議員定数をめぐる問題点などを学びました。議員定数を考えるにあたっての問題点、要件。議会事務局の補佐状況などを考慮することが大事であることが改めて確認できました。今後の新城市議会の参考としたいと思います。

定数減少にかかわる問題点と委員会審査について。議会費との関係。監視機能への影響。意見反映への影響。所管委員会の判断。議員定数方式について。6つの基準にもとづく定数算式方式。選挙区・地域バランスと1票の格差。施策立案への影響。監視機能への影響。

議員報酬の現状と課題。議員の年齢構成並びに、男女比率、競争率・議員報酬に対するアンケート調査実施、結果などを考慮し、近隣の市町村を参考にすることも、良い研究対象となり得る。田原市議会や幸田町議会、高山市議会など参考となると思います。

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

議員定数・議員報酬の

決め方間違っていますか？

in
京都

11/10(火) 10:00~13:00 京都

適正な議員定数の決定手法を考える

【議員定数】

1. 議員定数削減は議会改革ではない
2. 類似団体の議会を参考として議員定数を決定することの無意味さ
3. 住民の議会に対する無関心と議員定数への理解の欠如
4. 議員定数の意義と地方自治法における規定の変遷
5. 議員定数にあたっての留意点
(1)人口比例方式が採用されてきた理由 (2)議員定数条例の提案権者
(3)各地方公共団体における議員定数をめぐる事例
(4)議員定数を考えるにあたっての要件 (5)議会事務局の補佐状況
6. 定数減少にかかる問題点と委員会審査
(1)議会費との関係 (2)監視機能への影響 (3)意見反映への影響
(4)所管委員会の判断
7. 議員定数算定方式
(1)6つの基準に基づく定数算定方式 (2)選挙区と1票の格差
8. 議員定数改正が与える影響を統計的に分析
(1)財政への影響 (2)政策立案への影響 (3)監視機能への影響

11/10(火) 14:00~17:00 京都

適正な議員報酬の決定手法を考える

【議員報酬】

1. 議員報酬削減も議会改革ではない
2. 類似団体の議会を参考として議員報酬を決定することの無意味さ
3. 住民の議会に対する無関心と議員報酬への理解の欠如
4. すぐできる議長報酬UP
5. 委員長・副委員長の役職加算は必須
6. 議員報酬の意義と法律の改正経緯
7. 議員報酬の現状
(1)議員報酬の現状 (2)議員の年齢構成・男女比率・競争率
(3)議員報酬に対するアンケート調査結果
8. 欠席・懲罰議員等に対する減額支給の是非
9. 議員報酬算定の7つの基準
10. 議員報酬改正が与える影響を統計的に分析
(1)財政への影響 (2)政策立案への影響 (3)監視機能への影響



講師 廣瀬和彦

【(株)地方議会総合研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事】
慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。明治大学政経学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。著書は、「Q & A 議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」(すべてぎょうせい)など多数。

11月10日(午前・廣瀬講師) 出席者名簿

都道府県名	議会名	氏名
神奈川県	平塚市議会	臼井照人
岐阜県	高山市議会	水門義昭
岐阜県	8名 高山市議会	伊東寿充
岐阜県	高山市議会	橋本正彦
岐阜県	高山市議会	岩垣和彦
岐阜県	高山市議会	中田清介
岐阜県	高山市議会	倉田博之
岐阜県	高山市議会	松山篤夫
岐阜県	高山市議会	谷村昭次
千葉県	我孫子市議会	海津にいな
広島県	大竹市議会	細川雅子
奈良県	河合町議会	杵本光清
新潟県	上越市議会	近藤彰治
岡山県	高梁市議会	川上博司
奈良県	桜井市議会	金山成樹
広島県	大竹市議会	北地範久
広島県	大竹市議会	小田上尚典
広島県	大竹市議会	藤川和弘

11月10日
出席者名簿

✓

千葉県	柏市議会	坂巻重男
愛知県	大口町議会	酒井正宗
京都府	南丹市議会	木村裕
大分県	大分県議会	清水恵子
12/16 愛知県	幸田町議会 副議長	杉浦あきら
愛知県	幸田町議会	石原昇
愛知県	幸田町議会	都築幸夫
愛知県	幸田町議会 福祉 副議長	鈴木久夫
愛知県	幸田町議会 総務 副議長	伊澤伸一
愛知県	幸田町議会	黒木一
愛知県	幸田町議会	廣野房雄
愛知県	幸田町議会	藤江徹
愛知県	幸田町議会 総務 教育 副議長 派員 副	足立初男
愛知県	幸田町議会	都築一三
愛知県	幸田町議会 派員 副議長	笹野康男
愛知県	幸田町議会 議長	稲吉照夫
神奈川県	南足柄市議会	高田三郎
神奈川県	南足柄市議会	保田建一郎
14/12 富山県	黒部市議会	木島信秋
富山県	黒部市議会	高野早苗

富山県	黒部市議会	柴沢太郎
富山県	黒部市議会	成川正幸
富山県	黒部市議会	大辻菊美
富山県	黒部市議会	中野得雄
富山県	黒部市議会	谷村一成
富山県	黒部市議会	小柳勇人
富山県	黒部市議会	中村裕一
富山県	黒部市議会	伊東景治
富山県	黒部市議会	柳田守
富山県	黒部市議会	辻泰久
大分県	日田市議会	溝口千壽
大分県	日田市議会	梶原信幸
大分県	日田市議会	中島章二
愛知県	新城市議会	村田康助
北海道	稚内市議会	横澤輝樹
京都府	伊根町議会	大谷功
香川県	三豊市議会	近藤武
香川県	三豊市議会	浜口恭行
香川県	三豊市議会	瀧本文子
香川県	三豊市議会	田中達也

三重県	津市議会	村主英明
神奈川県	厚木市議会	寺岡まゆみ
千葉県	成田市議会	秋山忍
大阪府	交野市議会	友井健二
北海道	名 稚内市議会	佐藤由加里
北海道	稚内市議会	吉田大輔

11月10日(午後・廣瀬講師)出席者名簿

都道府県名	議会名	氏名
岐阜県	高山市議会	水門義昭 議員
岐阜県	高山市議会	伊東寿充 議員
岐阜県	高山市議会	橋本正彦 議員
岐阜県	高山市議会	岩垣和彦 会派
岐阜県	高山市議会	中田清介 会派
岐阜県	高山市議会	◎ 倉田博之 議長
岐阜県	高山市議会	松山篤夫 会派
岐阜県	高山市議会	谷村昭次 会派
奈良県	河合町議会	杵本光清
新潟県	上越市議会	近藤彰治
奈良県	桜井市議会	金山成樹
千葉県	柏市議会	坂巻重男
愛知県	大口町議会	酒井正宗
神奈川県	南足柄市議会	高田三郎
神奈川県	南足柄市議会	保田建一郎
京都府	伊根町議会	大谷功
大分県	日田市議会	溝口千壽
大分県	日田市議会	中島章二

愛知県	新城市議会	村田康助
北海道	稚内市議会	横澤輝樹
香川県	三豊市議会	近藤武
香川県	三豊市議会	浜口恭行
香川県	三豊市議会	瀧本文子
香川県	三豊市議会	田中達也
大阪府	交野市議会	友井健二
北海道	稚内市議会	佐藤由加里
北海道	稚内市議会	吉田大輔

令和 3年 1月 12 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

村田 康助



研修について下記の通り報告します。

記

1 研 修 日 令和2年11月16日月曜日10時より17時まで

2 研修先及び研修内容

京都市 京都テルサ 会議室 月曜日 10時より17時

「議員の発言権について」

3 講師 地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬和彦 (前全国議長会法務担当)

4 研修内容等

議員の質問・不穏当発言についての留意点。

5 所 感

議員の発言権について研修しました。質問や不穏当発言を中心に法的責任の根拠について。議員の発言権のあり方。発言自由の原則また、発言に対する制限について。また、国会議員と地方議員の発言に対する~~権限~~の違いについて学び新城市議会においても参考になると思いました。

発言の種類については、質問、質疑、討論、議事進行発言、一身上の弁明、議員としての議長の発言があることをあらためて、確認できました。

発言の議事運営上の手続きについて。通告書の提出、通告の時期、発言の順位などについての手法について研修しました。

発言の取り消しや訂正について。議員の発言取り消し、訂正については、取り扱いには、注意を要する。執行機関の発言取り消し並びに、訂正についても留意する必要性を感じる。会議録における取り扱いについても同様である。

不穏当発言並びに、不規則発言について。

不穏当発言とは、不規則発言とは何か。不穏当発言の基準について研修しました。

不穏当な言動に対する秩序の維持と秩序罰について。

議員に対する発言と責任について。発言に対し法的な責任を有することなど、自治法との整合性を強く感じました。

議員の発言権を活用する

質問・不穏当発言を中心に in 京都

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

11/16(月) 10:00~13:00 京都

議員の発言権(基礎編)

1. 議員の発言権とは
(1)発言自由の原則 (2)発言に対する制限
(3)国会議員と地方議員の発言に対する保障の違い
2. 発言の種類
(1)質問(2)質疑 (3)討論 (4)議事進行発言 (5)一身上の弁明
(6)議員としての議長の発言
3. 発言の議事運営上の手続き
(1)通告書の提出 (2)通告の時期 (3)発言の順位
4. 発言の取消し・訂正
(1)議員の発言取消し・訂正 (2)執行機関の発言取消し・訂正
(3)会議録における取り扱い
5. 不穏当発言・不規則発言
(1)不穏当・不規則発言とは (2)不穏当発言の基準
(3)不穏当な言動に対する秩序罰
6. 議員の発言に対する法的責任

11/16(月) 14:00~17:00 京都

議員の発言権(活用編)~効果的な質問・質疑のチェックポイント~

1. 質問
(1)意義と種類 (2)機能 (3)通告と事前聞き取り
(4)答弁を求める者の解釈 (5)一問一答の活用手法
(6)質問の範囲(第三セクター・外交問題等) (7)議長等に対する質問
(8)質問時間(9)無通告による質問の取り扱い(10)重複質問
(11)質問における要望
(12)効果的な質問を行うにあたっての11個のチェックポイント
(13)より良い答弁を引き出すための5つの方策
(14)質問における情報源
2. 質疑
(1)意義と4つの注意事項 (2)質問と質疑の3つの違い
(3)委員会付託前の質疑と委員長報告後の質疑
(4)本会議と委員会質疑の違い
3. 質問・質疑(活用編)
(1)質問のテーマを考えるにあたっての3つのポイント
(2)執行機関への聞き取り (3)質問と公約
(4)政策提案と質問 (5)予算・決算における質疑改善点



講師 廣瀬和彦

【(株)地方議会総合研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事】

慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。明治大学政経学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。著書は、「Q & A 議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」「すべてぎょうせい」など多数。

11月16日(午前・廣瀬講師) 出席者名簿 京都府

都道府県名	議会名	氏名
岡山県	新見市議会	藤沢正則
愛知県	安城市議会	永田敦史
大阪府	代議市議会 吹田市議会	白石透
大阪府	吹田市議会	里野善徳
愛知県	阿久比町議会	都築清子
愛知県	阿久比町議会	土井雅文
愛知県	阿久比町議会	山本恭久
愛知県	阿久比町議会	渡辺功
愛知県	阿久比町議会	大村文俊
愛知県	阿久比町議会	石川英治
愛知県	阿久比町議会	山本良輔
愛知県	阿久比町議会	久保秋男
愛知県	阿久比町議会	瀧塚政明
愛知県	阿久比町議会	竹内卓美

愛知県	阿久比町議会	山本和俊
愛知県	阿久比町議会	小柳みゆき
愛知県	阿久比町議会	新美三喜雄
新潟県	長岡市議会	関充夫
新潟県	長岡市議会	杵渕俊久
新潟県	長岡市議会	山田省吾
京都府	綾部市議会	酒井裕史
愛知県	新城市議会	村田康助
北海道	深川市議会	鶴岡恵司
北海道	深川市議会	小田雅一
北海道	深川市議会	近沢弘幸
北海道	深川市議会	辻本智
北海道	深川市議会	北村薫
石川県	能美市議会	開道昌信
山口県	下関市議会	前東直樹
埼玉県	東秩父村議会	野口勝則

埼玉県	東秩父村議会	百瀬浩子
埼玉県	東秩父村議会	鷹野明
富山県	砺波市議会	山本篤史
北海道	北海道議会	松本将門
沖縄県	○ 沖縄市議会	陽野 嵩元直萌
愛知県	○ 日進市議会	小野田利信
埼玉県	川口市議会	柳田力
熊本県	菊陽町議会	大久保輝
神奈川県	厚木市議会	名切文梨
神奈川県	○ 厚木市議会	寺岡まゆみ

敬

11月16日(午後・廣瀬講師) 出席者名簿 新井

都道府県名	議会名	氏名
埼玉県	埼玉県議会	武内政文
大分県	日田市議会	梶原信幸
大阪府	吹田市議会	白石透
大阪府	吹田市議会	里野善徳
埼玉県	羽生市議会	保泉和正
埼玉県	羽生市議会	島村勉
埼玉県	羽生市議会	柳沢暁
群馬県	みどり市議会	高草木弘子
群馬県	みどり市議会	金子實
群馬県	みどり市議会	大澤映男
群馬県	みどり市議会	上岡克己
群馬県	みどり市議会	松井篤
宮崎県	小林市議会	貴嶋憲太郎
宮崎県	小林市議会	杉元豊人

愛知県	阿久比町議会	都築清子
愛知県	阿久比町議会	土井雅文
愛知県	阿久比町議会	山本恭久
愛知県	阿久比町議会	渡辺功
愛知県	阿久比町議会	大村文俊
愛知県	阿久比町議会	石川英治
愛知県	阿久比町議会	山本良輔
愛知県	阿久比町議会	久保秋男
愛知県	阿久比町議会	瀧塚政明
愛知県	阿久比町議会	竹内卓美
愛知県	阿久比町議会	山本和俊
愛知県	阿久比町議会	小柳みゆき
愛知県	阿久比町議会	新美三喜雄
新潟県	長岡市議会	関充夫
新潟県	長岡市議会	杵渕俊久
新潟県	長岡市議会	山田省吾

宮崎県	小林市議会	溝口誠二
岡山県	真庭市議会	柴田正志
岡山県	真庭市議会	谷本彰良
京都府	綾部市議会	酒井裕史
宮崎県	小林市議会	時任隆一
愛知県	新城市議会	村田康助
北海道	深川市議会	鶴岡恵司
北海道	深川市議会	小田雅一
北海道	深川市議会	近沢弘幸
北海道	深川市議会	辻本智
北海道	深川市議会	北村薫
石川県	能美市議会	開道昌信
山口県	下関市議会	前東直樹
埼玉県	東秩父村議会	野口勝則
埼玉県	東秩父村議会	百瀬浩子
埼玉県	東秩父村議会	鷹野明

富山県	砺波市議会	山本篤史
北海道	北海道議会	松本将門
沖縄県	沖縄市議会	嵩元直萌
愛知県	日進市議会	小野田利信
埼玉県	川口市議会	柳田力
熊本県	菊陽町議会	大久保輝
神奈川県	厚木市議会	名切文梨

令和 3年 1月 12 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

村田 康助



研修について下記の通り報告します。

記

1 研修日 令和3年1月7日(木)～1月8日(金)

2 研修先及び研修内容 ~~中央~~
千葉市市町村職員研修所(市町村アカデミー)
令和2年度市町村議会議員特別セミナー

演題1 ウイズコロナ時代の日本経済

講師 大阪経済大学客員教授 岡田 晃 氏

演題2 豪雨災害とその備え

講師 東京大学院情報学環特任教授 片田 敏孝 氏

演題3 地方議会の将来に向けて

講師 東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏

演題4 地域コミュニティの現状と自治体の役割

講師 法政大学法学部教授 名和田 是彦 氏

3 所 感

演題1については、コロナ禍というピンチをチャンスに変えることができる。日本には、それを可能にするだけの力を持っていると思う。コロナ禍前までの貯蓄や世界の中で日本の相対的優位性を生かすとともに歴史的な視点からも、ピンチをチャンスに変えてきた先人たちのDNAを受け継いでいる日本人。自らの強さを再認識し、さらに負けない強みを伸ばしたいものです。

演題2については、地震災害、豪雨災害など気象災害は、すでに気象庁ですら予測ができない、読めない、劇的な環境変化の時代に突入している状況下にある。荒ぶる気象災害は、我々の想定に収まらない自然災害の猛威があります。行政の限界と自分の命は、自ら守る姿勢が大切であると思いを固めました。

免責 演題3については、地方議会・議員のあり方での論点は、地方議会の存在意義や多様な住民が参画する~~異議~~や議員のなりて不足の要因に対するさいの視点・考え方など多種の要因があり、住民の理解と選挙制度も考えられると思いました。

演題4については、地域コミュニティの現状と自治体の役割について思うことは、まちづくりフォーラムなどの代表者と理解を深め、コミュニティカフェなど地域間交流にて、より一層工夫をし、自治の役割を明確化し、目標と交流を融合させた活動が良い結果をもたらすと感じました。

令和2年度 市町村議会議員特別セミナー② 日程表

日時：令和3年1月7日(木)～8日(金)

会場：市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）

1月7日（木） ≪会場：2階 講堂≫

11:50～12:30 入所

12:00～12:50 昼食（1階 食堂）

13:00～13:25 開講のことば、研修日程等説明

13:30～15:00

【演題】ウィズコロナ時代の日本経済

【講師】経済評論家、大阪経済大学客員教授

おか だ あきら
岡 田 晃 氏

15:15～16:45

【演題】豪雨災害とその備え

【講師】東京大学大学院情報学環特任教授

かた だ とし たか
片 田 敏 孝 氏

17:30～20:30 夕食（1階 食堂）

—研修所内宿泊—

1月8日（金） ≪会場：2階 講堂≫

7:15～ 8:45 朝食（1階 食堂）

9:00～10:30

【演題】地方議会の将来に向けて

【講師】東北大学大学院情報科学研究科准教授

かわ むら かず のり
河 村 和 徳 氏

10:45～12:15

【演題】地域コミュニティの現状と自治体の役割

【講師】法政大学法学部教授

な お た はし ひこ
名 和 田 是 彦 氏

12:15～12:20 閉講のことば

12:20～ 解散、昼食（1階 食堂）

<帰りのバス> 行き先 JR（総武線）幕張本郷駅 12:40 13:10 13:40

行き先 JR（京葉線）海浜幕張駅 12:40 13:10 13:40

市町村議会議員特別セミナー② 名簿

令和3年1月7日(木)～8日(金)

通番	都道府県	市区町村名	市区町村カナ	人口	氏名(漢字)	氏名(カナ)	所属職名
1	北海道	蘭越町	ランコシチヨウ	4,669	淀谷 融	ヨトヤ トオル	議員
2	宮城県	大和町	タイワチヨウ	28,598	高平 聡雄	タカヒラ トシオ	議長
3	埼玉県	所沢市	ソコサキ	344,233	石本 亮三	イシモト リョウジ	議員
4	埼玉県	八潮市	ヤチオシ	92,131	矢澤 江美子	ヤザワ エミコ	議員
5	千葉県	船橋市	フナバシ	642,938	松橋 浩嗣	マツハシ コウジ	議員
6	東京都	足立区	アダチク	691,298	市川 伯登	イチカワ オキト	議員
7	東京都	小平市	コウバイシ	194,869	磯山 亮	イソヤマ リョウ	議長
8	東京都	武蔵村山市	ムサシムラヤマシ	72,382	鈴木 明	スズキ アキラ	議員
9	神奈川県	南足柄市	ミナミアサガシ	42,195	柏木 實	カシキ ミル	議員
10	神奈川県	南足柄市	ミナミアサガシ	42,195	加藤 直己	カトウ ナオキ	議員
11	神奈川県	大磯町	オオイソチ	32,773	石川 則男	イシカワ ノリオ	議員
12	神奈川県	大磯町	オオイソチ	32,773	鈴木 たまよ	スズキ タマヨ	議員
13	神奈川県	愛川町	アイワチ	40,248	玉利 優	タマリ ユウ	議員
14	神奈川県	愛川町	アイワチ	40,248	木下 眞樹子	キノシタ マキコ	議員
15	神奈川県	愛川町	アイワチ	40,248	渡辺 基	ワタナベ モトイ	議員
16	神奈川県	愛川町	アイワチ	40,248	山中 正樹	ヤマナカ マサキ	議員
17	石川県	加賀市	カガシ	66,350	今津 和喜夫	イマツ ワキオ	副議長
18	石川県	羽咋市	ハクイシ	21,324	酒井 一人	サカイ カズト	議員
19	愛知県	蒲郡市	カマコオリシ	80,239	大須賀 林	オオスガ ハヤシ	議員
20	愛知県	新城市	シンシロシ	46,029	村田 康助	ムラタ コウスケ	議員
21	愛知県	東郷町	トウゴウチヨウ	44,085	加藤 宏明	カトウ ヒロアキ	副議長
22	広島県	安芸太田町	アキオオチヨウ	6,147	末田 健治	スエタ ケンジ	議員
23	広島県	世羅町	セラチヨウ	16,072	矢山 武	ヤマヤマ タケシ	議員
24	広島県	世羅町	セラチヨウ	16,072	藤井 照憲	フジイ ショウケン	議員
25	徳島県	阿波市	アワシ	37,124	笠井 一司	カサイ イチジ	議員

令和3年 4月 1日

新城市議会議長 鈴木 達雄 様

新城市議会議員 村田 康助



研修について下記の通り報告します。

記

研 修 日 令和3年1月26日

研修先及び研修内容

株式会社 地方議会総合研修所 廣瀬和彦 テレビ会議 新城市

演題 議会力をアップさせる議員報酬・定数・政務活動費
コロナ禍を踏まえた地方議会のあり方

講師 山梨学院大学教授 江藤 俊昭 氏

所 感

議会改革は地域民主主義の実現であると思う。住民自治をどのように創り出すのか考えなくてはならないと思われる。議会改革が執行機関の行政改革を促進することも認識すべきでもある。

定数・報酬を考えることは、新しい議会を作り出すために必要である。同時に、これは現在の議会の為だけではなく、多くの多様な住民が将来議員になりやすく、また活動しやすくする条件でもある。持続的な地域民主主義のとして考える大きな要素でもある。住民の声の実現として削減にまい進する議会・議員は、将来を見すれば住民に対する背信行為となる場合があることは自覚すべきと警鐘されていた点は、共通認識を感じました。

議員の資質と能力については、専門性を有した人材と多様な市民性を有した人材とを対立してとらえる議論も多々存在していると思う。議員と住民との隔たりのあるのは、情熱と選挙に当選するネットワークの有無と思う。議員は、常に、議決責任の自覚とコミュニケーション能力が必要であり、求められていると思う。

コロナ禍を踏まえた地方議会については、議会活動は不要不急ではなく冷静に判断し行動できる必要緊急な活動が求められると思う。行政は、市民対応など緊急性の高い対応が求められています。このような状況下において行政と対応するには、バラバラに対応するのではなく議会としてまとまった意見を持つことが重要であると思います。

議会運営は再検討を求められています。一般質問は重要ではあるが、議案審査がより重要である。議案審査は、首長など全員の出席を要せず審議が可能であり緊急性を要するときには、再認識すべきことと感じました。

議員・職員のための
コロナに負けない！
議会力向上セミナー
1月26日(火) in 京都

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。



講師：江藤 俊昭【山梨学院大学教授】

昭和31年東京都生まれ。昭和61年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。政治学博士。専攻は地域政治論。三重県議会議会改革諮問会議会長、鳥取県智頭町行財政改革審議会会長、第29次・第30次地方制度調査会委員等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、議会サポーター・アドバイザー（栗山町、芽室町、滝沢市、山陽小野田市）、など。主な著書に、「自治体議会の政策サイクル」「Q&A 地方議会改革の最前線」、「自治体議会学」等多数。現在「議員NAVI」「ガバナンス」連載中。

1/26(火) 10:00~13:00

**議会力をアップさせる
議員報酬・定数・政務活動**

1. 議員報酬・定数・
政務活動費の基本原則
2. 議員報酬の考え方（過去・現在・未来）
：原価方式とは
3. 定数の考え方（過去・現在・未来）
：人口から討議の重視
4. 政務活動費の考え方
（過去・現在・未来）
：活動指標と成果指標
5. 議論し実現するプロセス
：住民を巻き込む議論を

1/26(火) 14:00~17:00

**コロナ禍を踏まえた
地方議会のあり方**

1. 二極化した議会
（質問・質疑・専決処分への対応）
2. 危機状況の議会運営
（議会BCP, 不要不急ではない活動）
3. 議会運営におけるし質疑・質問の位置
4. 議会改革の本史
5. 議会からの政策サイクルにおける
質疑・質問の位置
（質疑・質問を議会のものに）
6. よい質疑・質問をつくるために
（支援・ネットワーク）
7. 広報における質疑・質問

1月26日(午前・江藤講師) 出席者名簿

都道府県名	議会名	氏名
新潟県	上越市議会	江口修一
兵庫県	姫路市議会	竹中由佳
三重県	東員町議会	川瀬孝代
愛知県	新城市議会	村田康助
愛知県	新城市議会	柴田賢治郎
滋賀県	草津市議会	竹田茉美
福岡県	大刀洗町議会	棚町瑞樹
東京都	武蔵村山市議会	田口和弘

1月26日(午後・江藤講師) 出席者名簿

都道府県名	議会名	氏名	
新潟県 ○	1951 上越市議会	江口修一	白 177
兵庫県 ○	姫路市議会	竹中由佳	177
三重県 ○	東員町議会	川瀬孝代	議会室 177
愛知県 ○	新城市議会	村田康助	177
愛知県 ○	新城市議会	柴田賢治郎	177
愛媛県	東温市議会	渡部繁夫	177
愛媛県	東温市議会	安井浩二	
福岡県 ○	大刀洗町議会	棚町瑞樹	177
東京都 ○	武蔵村山市議会	田口和弘	177

新
16人

当日 13人
静岡市議会 長火用.